



2021年3月期 第3四半期決算短信(日本基準)(連結)

2021年1月27日

上場会社名 株式会社 青森銀行
 コード番号 8342 URL <https://www.a-bank.jp/>
 代表者 (役職名) 取締役頭取 (氏名) 成田 晋
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員総合企画部長 (氏名) 木立 晋
 四半期報告書提出予定日 2021年2月10日 特定取引勘定設置の有無 無
 配当支払開始予定日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東
 TEL 017-777-1111

(百万円未満、小数点第1位未満切捨て)

1. 2021年3月期第3四半期の連結業績(2020年4月1日～2020年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	経常収益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第3四半期	30,428	3.9	3,212	5.4	2,050	15.4
2020年3月期第3四半期	31,681	4.5	3,398	23.0	2,424	18.9

(注) 包括利益 2021年3月期第3四半期 9,022百万円 (181.7%) 2020年3月期第3四半期 3,202百万円 (%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期第3四半期	101.07	
2020年3月期第3四半期	119.56	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年3月期第3四半期	3,659,653	117,100	3.2
2020年3月期	3,185,755	109,088	3.4

(参考) 自己資本 2021年3月期第3四半期 117,100百万円 2020年3月期 109,088百万円

(注) 「自己資本比率」は、期末純資産の部合計を期末資産の部合計で除して算出しております。
 なお、本「自己資本比率」は、自己資本比率告示に定める自己資本比率ではありません。

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期		30.00		25.00	55.00
2021年3月期		25.00			
2021年3月期(予想)				25.00	50.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2021年3月期の連結業績予想(2020年4月1日～2021年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	経常収益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	39,500	8.1	2,800	20.4	1,900	29.2	93.64

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

以外の会計方針の変更 : 無

会計上の見積りの変更 : 無

修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2021年3月期3Q	20,512,161 株	2020年3月期	20,512,161 株
期末自己株式数	2021年3月期3Q	220,726 株	2020年3月期	223,051 株
期中平均株式数(四半期累計)	2021年3月期3Q	20,290,583 株	2020年3月期3Q	20,280,312 株

(注) 期末自己株式数には、BIP信託が保有する当行株式数(2021年3月期3Q91千株、2020年3月期94千株)を含めております。

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記の予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報及び将来の業績に影響を与える不確実な要因に係る本資料発表日現在における仮定を前提としております。実際の業績は、今後様々な要因によって大きく異なる結果となる可能性があります。

【添付資料】

目 次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
（1）連結経営成績に関する定性的情報	2
（2）連結財政状態に関する定性的情報	2
（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
（1）四半期連結貸借対照表	3
（2）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
（3）四半期連結財務諸表に関する注記事項	6
3. 補足情報	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期(2020年4月1日～2020年12月31日)の経営成績につきましては、以下のとおりとなりました。

経常収益は、貸出金利息や有価証券利息配当金の減少により、前年同期比12億53百万円減収の304億28百万円となりました。また経常費用は、営業経費の減少等により、前年同期比10億68百万円減少の272億15百万円となりました。

この結果、経常利益は前年同期比1億86百万円減益の32億12百万円となり、親会社株主に帰属する四半期純利益についても、前年同期比3億74百万円減益の20億50百万円となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第3四半期における財政状態につきまして、総資産は前連結会計年度末比4,738億円増加し3兆6,596億円、純資産は前連結会計年度末比80億円増加し1,171億円となりました。

譲渡性預金を含めた総預金は、個人預金及び法人預金が引き続き順調に推移し、公金預金も増加したことから、前連結会計年度末比2,387億円増加し2兆8,801億円となりました。

貸出金は、一般貸出及び個人ローンの増加により、前連結会計年度末比199億円増加し1兆8,108億円となりました。

有価証券は、前連結会計年度末比97億円増加し8,724億円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第3四半期連結累計期間の経常利益および親会社株主に帰属する四半期純利益は、2020年11月13日に公表いたしました2021年3月期の通期の業績予想を上回っておりますが、今後の与信費用の発生等も考慮し、現時点において業績予想の修正はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年12月31日)
資産の部		
現金預け金	393,786	853,891
コールローン及び買入手形	15,000	20,000
買入金銭債権	2,604	2,631
商品有価証券	—	5
金銭の信託	9,980	5,001
有価証券	862,675	872,429
貸出金	1,790,855	1,810,833
外国為替	2,320	1,725
リース債権及びリース投資資産	15,770	15,995
その他資産	57,915	44,211
有形固定資産	21,484	21,271
無形固定資産	1,678	1,525
退職給付に係る資産	2,587	2,705
繰延税金資産	2,109	423
支払承諾見返	15,559	15,167
貸倒引当金	△8,573	△8,166
資産の部合計	3,185,755	3,659,653
負債の部		
預金	2,471,936	2,669,648
譲渡性預金	169,497	210,538
コールマネー及び売渡手形	8,129	—
債券貸借取引受入担保金	49,125	102,676
借入金	320,441	525,735
外国為替	32	33
その他負債	39,126	15,038
賞与引当金	586	16
役員賞与引当金	22	18
退職給付に係る負債	106	113
役員退職慰労引当金	13	8
株式給付引当金	127	146
睡眠預金払戻損失引当金	420	441
繰延税金負債	—	1,450
再評価に係る繰延税金負債	1,541	1,518
支払承諾	15,559	15,167
負債の部合計	3,076,666	3,542,552

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年12月31日)
純資産の部		
資本金	19,562	19,562
資本剰余金	12,916	12,916
利益剰余金	72,188	73,205
自己株式	△791	△783
株主資本合計	103,875	104,900
その他有価証券評価差額金	6,855	12,665
繰延ヘッジ損益	△3,670	△2,616
土地再評価差額金	2,453	2,468
退職給付に係る調整累計額	△425	△317
その他の包括利益累計額合計	5,212	12,200
純資産の部合計	109,088	117,100
負債及び純資産の部合計	3,185,755	3,659,653

（2）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

（単位：百万円）

	前第3四半期連結累計期間 （自2019年4月1日 至2019年12月31日）	当第3四半期連結累計期間 （自2020年4月1日 至2020年12月31日）
経常収益	31,681	30,428
資金運用収益	18,029	16,365
（うち貸出金利息）	12,558	12,274
（うち有価証券利息配当金）	5,448	4,054
役務取引等収益	4,584	4,797
その他業務収益	201	456
その他経常収益	8,867	8,809
経常費用	28,283	27,215
資金調達費用	631	489
（うち預金利息）	295	155
役務取引等費用	1,996	1,833
その他業務費用	307	143
営業経費	16,934	16,254
その他経常費用	8,414	8,494
経常利益	3,398	3,212
特別利益	1	54
固定資産処分益	1	54
特別損失	159	214
固定資産処分損	74	58
減損損失	84	155
税金等調整前四半期純利益	3,240	3,052
法人税、住民税及び事業税	788	935
法人税等調整額	26	66
法人税等合計	815	1,002
四半期純利益	2,424	2,050
親会社株主に帰属する四半期純利益	2,424	2,050

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)
四半期純利益	2,424	2,050
その他の包括利益	777	6,971
その他有価証券評価差額金	938	5,809
繰延ヘッジ損益	△351	1,054
退職給付に係る調整額	190	107
四半期包括利益	3,202	9,022
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	3,202	9,022

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

前連結会計年度の有価証券報告書の(追加情報)(会計上の見積り)に記載した新型コロナウイルス感染症拡大の経済への影響を含む仮定について重要な変更はありません。

3. 補足情報

当行の2021年3月期第3四半期決算の概要は以下のとおりであります。

(1) 損益の状況（単体）

◎実質業務純益は、役務取引等利益が増加し、経費も減少したものの、資金利益の減少による影響が大きく、前年同期比△13百万円減益の28億45百万円（通期予想比129.3%）となりました。
 ◎経常利益は、与信費用が減少したものの、株式等関係損益の悪化等により、前年同期比△2億76百万円減益の28億6百万円（通期予想比122.0%）、四半期純利益は、前年同期比△2億15百万円減益の21億51百万円（同113.2%）となりました。

（単位：百万円）

	2021年3月期 第3四半期 (9ヵ月累計) (A)	2020年3月期 第3四半期 (9ヵ月累計) (B)	前年 同四半期比 (A)-(B)	2021年3月期 通期予想値
経常収益	23,139	24,440	△ 1,301	29,700
業務粗利益	19,324	19,991	△ 667	
(除く国債等債券損益)(コア業務粗利益)	19,058	20,122	△ 1,064	
資金利益	16,358	17,816	△ 1,458	
役務取引等利益	2,653	2,280	373	
その他業務利益	312	△ 106	418	
(うち国債等債券損益)	265	△ 131	396	
経費(除く臨時処理分)	16,478	17,132	△ 654	
人件費	8,513	8,862	△ 349	
物件費	6,854	7,235	△ 381	
税金	1,111	1,034	77	
実質業務純益	2,845	2,858	△ 13	2,200
コア業務純益	2,579	2,990	△ 411	2,000
除く投資信託解約損益	2,076	2,358	△ 282	
一般貸倒引当金繰入額 I	△ 105	△ 352	247	
業務純益	2,950	3,211	△ 261	
臨時損益	△ 143	△ 127	△ 16	
うち株式等関係損益	278	855	△ 577	
うち不良債権処理額 II	221	652	△ 431	
(与信費用 I + II)	116	299	△ 183	
経常利益	2,806	3,082	△ 276	2,300
特別損益	61	△ 147	208	
うち抱合せ株式消滅差益	220	—	220	
うち減損損失	155	84	71	
税引前四半期純利益	2,867	2,935	△ 68	
法人税等	716	568	148	
四半期純利益	2,151	2,366	△ 215	1,900

(注) 実質業務純益 = 業務粗利益 - 経費

コア業務純益 = 業務純益 + 一般貸倒引当金繰入額 - 国債等債券損益

(2) 金融再生法開示債権 (単体)

◎金融再生法ベースの開示債権額は、2020年9月末比5億円増加して238億円となりました。

	2020年12月末		2020年9月末
	2020年12月末	2020年9月末比	
破産更生債権及びこれらに準ずる債権	32	△2	34
危険債権	172	7	165
要管理債権	34	1	33
小計 (A)	238	5	233
正常債権	18,355	120	18,235
合計 (B)	18,593	126	18,467
開示債権比率 (A) / (B)	1.28%	0.03%	1.25%

(注) 1. 記載金額は単位未満を四捨五入して表示しております。
 2. 上記計数は、部分直接償却相当額を直接減額した後の残高を記載しております。

(3) 時価のある有価証券の評価差額 (単体)

◎その他有価証券の評価差額は、2020年9月末比37億円増加して181億円の評価益となりました。

	(単位：億円)				(参考) (単位：億円)			
	2020年12月末				2020年9月末			
	時価	評価差額	うち益	うち損	時価	評価差額	うち益	うち損
その他有価証券	6,209	181	200	18	6,256	144	167	22
株式	127	54	59	4	121	39	48	9
債券	4,270	66	74	7	4,298	69	77	7
その他	1,811	60	66	6	1,836	36	41	5

(注) 満期保有目的の債券に係る含み損益は以下のとおりであります。また、子会社・関連会社株式で時価のあるものは該当ありません。

	(単位：億円)				(参考) (単位：億円)			
	2020年12月末				2020年9月末			
	帳簿価額	含み損益	うち益	うち損	帳簿価額	含み損益	うち益	うち損
満期保有目的の債券	2,490	5	6	0	2,539	6	6	0

(4) 自己資本比率 (国内基準)

2020年12月末の自己資本比率 (国内基準) については現在算出中であり、確定次第、別途開示する予定であります。

（5）預金、貸出金等の残高（単体）

◎預金等残高は、個人預金や法人預金の増加等により、前年同月末比2,398億円（+9.0%）増加し、2兆8,911億円となりました。一方預り資産残高は、投資信託や公共債の減少等により、前年同月末比△98億円（△3.8%）減少の2,445億円となりました。

◎貸出金残高は、一般貸出、個人ローンおよび公共貸出のいずれも増加し、前年同月末比694億円（+3.9%）増加し、1兆8,256億円となりました。

① 預金・貸出金の残高

	(単位：億円)		(参考) (単位：億円)	
	2020年12月末	前年同月末比	2020年9月末	2019年12月末
預金等（未残）	28,911	2,398	28,390	26,513
うち個人預金	18,376	1,099	17,901	17,277
うち法人預金	6,879	867	6,665	6,012
貸出金（未残）	18,256	695	18,137	17,561
一般貸出	7,803	272	7,658	7,531
個人ローン	4,960	332	4,874	4,628
公共貸出	5,491	90	5,603	5,401

（注）預金等＝預金＋譲渡性預金

② 預り資産の残高

	(単位：億円)		(参考) (単位：億円)	
	2020年12月末	前年同月末比	2020年9月末	2019年12月末
投資信託	589	△28	582	617
公共債	207	△62	215	269
個人年金保険等	1,648	△8	1,647	1,656
合計	2,445	△98	2,445	2,543

（※）個人年金保険等は有効契約残高で計上しております。

以上